

Weekly Report

2020～2021年度



令和2年7月21日(火)
第2001回例会



作者の言葉
我が国は、長い歴史と文化を誇る国である。しかし、戦後、世界は大きく変化した。我々日本人は、この変化にどう対応していくか、常に課題として取り組んできた。そして、この変化の中で、我々の役割は何か、常に問い続けてきた。そして、我々の役割は、世界をより良くするために、我々の力を尽くすことにある。我々日本人は、この変化の中で、我々の役割を果たすために、我々の力を尽くすことにある。我々日本人は、この変化の中で、我々の役割を果たすために、我々の力を尽くすことにある。

◆ 会長/赤本 昌広 ◆ 幹事/平岡 勉 ◆ 会報/玉井 智春

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第2001回例会記録 令和2年7月21日(火) 3/44回

<点鐘>

赤本会長

赤本会長より、バッジが渡されました。

<ソング> 我等の生業

<会長報告>

赤本会長

<お客様ご紹介>

赤本会長

1. 麻生青少年交通安全連絡協議会より 「令和2年度総会」 書面表決の結果について
2. 2020-21年度米山奨学生現況調査の依頼
中国ウイグル自治区出身のジュラット・シャブカティー君が7月末から8月上旬引越しの後、初顔合わせで例会に参加することになります。

川崎麻生RC 2019-20年度
ガバナー補佐 大野勉様→
「轟年度では、前半は増強、増強と皆様にお話したかと思えます。そして、百合丘クラブの長岡の花火大会、納涼会、クリスマス家族会にも参加し、楽しく過ごさせていただき、ありがとうございました。また、1年の半分はコロナに負けて、増強から退会防止へとお願ひしておりました。本来ならば新旧のガバナー補佐で何うところが出来ませんでした。」



川崎麻生RC 会長 蓬田忠様、
幹事 川崎航様
→「表敬訪問に参りました。本来ならば、オリンピックイヤーでもあるありがたい時期に2度目の会長になれると思っておりましたが、こんなに寂しくなるとは予想もしなかったです。」



<幹事報告>

平岡幹事

- * 近隣クラブ例会変更 川崎西RC、横浜あざみRC
- * 2020-21活動計画書着 川崎高津RC、川崎南RC、川崎中央RC、川崎中RC、川崎北RC

<ニコニコ委員会>

菊池委員

川崎麻生RC 前年度ガバナー補佐 大野勉様→
「皆さまお久しぶりです。よろしくお願ひいたします」。川崎麻生RC 蓬田会長・川崎幹事→「本年度何卒よろしくお願ひいたします」。当クラブより 赤本会長→「川崎麻生RC大野前ガバナー補佐、蓬田会長、川崎幹事ようこそいらっしゃいました。ごゆっくりお過ごしください」。平岡幹事→「本日の委員会報告、委員長の石野会員、中島眞一会員、親松会員、宜しくお願ひいたします」。感謝を込めてニコニコへ 阿久澤会員、安藤美恵子会員、青柳会員、井上勇会員、石野会員、伊藤会員、鴨志田会員、小島会員、鴻上会員、小塚会員、中島眞一会員、中島健児会員、中村会員、野島会員、大矢会員、親松会員、佐々岡会員、清家会員、嶋会員、白井会員、鈴木文夫会員、鈴木岳人会員、鈴木孝英会員、鈴木清会員、渡邊会員、

<表彰>

赤本会長

ポール・ハリス・フェロー

- 1回目…安藤美恵子会員、鈴木清会員
- 2回目…中村会員
- 3回目…鴨志田会員、小塚会員、中島眞一会員
- 4回目…渡邊会員

第2003回	8月4日	委員会報告	会員増強・会員選考各委員長
第2004回	8月18日	クラブフォーラム	会員増強委員長
第2005回	8月25日	納涼会	移動例会(夜会)

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

山口会員、山崎会員、屋敷会員、結城会員、菊池会員。
 <出席委員会> 小塚委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第2001回	47	34	13		72.34%
第2000回	47	35	12	2	78.72%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	34件	47,000円	101件	114,000円
財団	0件	0円	2件	45,000円
ベネファクター	0件	0円	0件	0円
米山	1件	10,000円	2件	20,000円

<米山奨学委員会> 阿久澤委員長
 佐々岡会員→「誕生日祝いありがとうございました」。

本日のプログラム

<委員会報告>

国際奉仕委員会

石野委員長

本年度の国際ロータリーのテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。ロータリアンの機会の扉を開くという意味と共に、活動を通して様々な人たちにとって豊かで意義ある人生となるよう機会の扉を開いていく、という意味を持つと理解しています。



○ロータリー財団…地域の施設や団体への奉仕活動等に使われる「人道的プロジェクト」、日本から海外へ留学する方への学問に関する「奨学金事業」が核となっています。ポリオ根絶プログラムも財団の活動で、各国のポリオ根絶担当チームは、ウィルスの特定やワクチン配布キャンペーンを通じて築いてきたインフラを、新型コロナウイルス対策の支援に役立てる活動をしていると報告されています。

○米山奨学…勉学・研究の為に日本に在留している私費外国人留学生に、奨学金を支給しています。ロータリー財団関係の寄付目標、年次基金寄付：150US \$ 以上、恒久基金寄付：1名以上(ベネファクター)、ポリオ寄付：30US \$ 以上、ロータリー米山奨学金寄付目標、年間普通寄付…1人当たり：5,000円以上、年間特別寄付…1人当たり：20,000円以上、今年度米山奨学生：中国ウイグル自治区出身のジュラット・シャプカイン君 カウンセラー：小島会員

職業奉仕委員会

中島眞一委員長

吉田ガバナーが、地区方針の中で「ロータリーの原点である親睦と職業奉仕を根幹に、切磋琢磨して

品格(高潔性)をより高めることを目指しましょう」と述べております。そのうえで、ロータリーの目的第2項には「職業上の高い倫理基準を保つこと」更に「ロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」と説いています。事業活動を遂行するにあたり、営利活動の中で利潤を求め、事業拡大を図るのは当然な経済活動ですが、その方法について、法に則った上での道義的な方法による商取引、更に我々は品格ある企業活動が求められています。



これをどう実践するのか、そのヒントは「四つのテスト」の中にあります。「四つのテスト」はロータリーの基本理念の一つで、多くのロータリアンの職場や社会生活においても行動指針となっており、大いに活用して「職業を高潔なものにする」ということに少しでも近づけてゆきたいと思います。

今年度は、会員の職業情報に関する卓話や招聘卓話により、職業倫理というものを考える機会を持ちたいと思います。また職場訪問については、会長幹事と相談の上、訪問先を決めていきたいと思っています。

青少年奉仕委員会

親松委員長

- インターアクトクラブ活動計画
 - ・桐光学園IACとの、川崎市統一美化運動とあしなが募金活動…社会奉仕委員会と協力して活動
 - ・IAC地区活動…年次大会、海外研修、役員研修会、青少年交歓会



当地区のインターアクトクラブは現在、19クラブ、21のRCが提唱し、250名の中高生が所属。

- ローターアクトクラブ
 - 今年度、私が地区のローターアクト委員となっております。先日もZoomでの合同例会があり、RCはガバナー含め30名、RA50名の参加でした。
 - ・年齢制限の変更 18~30才→30才の上限無しに2022年7月より、大学生5 \$・社会人8 \$の人頭分担金の負担。当地区では6クラブ約60名所属。
- 青少年交換RYE 前年度、当地区で募集していないので、今年度の受け入れ送り出しはありません。
- RYLA 当クラブに委員会はありません。地区としましては、IAC・RACを提唱してないクラブでも参加できるよう今後計画するとのことです。

<点鐘>

赤本会長